

令和元年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	先輩（3年生）と後輩（1，2年生）による課題研究交流会
期 日	2年生 10月11日（金） 学校設定科目 SSRB の「課題研究 B」 1年生 10月15日（火） 学校設定科目 SSRA の「課題研究 A」
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究を経験した先輩の体験談や全国レベルの研究を見てきた感想を聞くことで、研究への興味・関心・意欲を更に向上させる。</li> <li>・ 研究の進め方、まとめ方を学び、これまでの研究を見直す機会とする。</li> </ul>
内 容	8月7、8日（水、木）SSH 生徒研究発表会（神戸国際展示場）に参加した理数科3年生5名が、写真を見せながら、経験したことや感じたことを後輩に発表する。その後、質疑応答を行う。
対 象	理数科2年生および理数科1年生



写真を見せながらの説明



質疑応答

後輩の 主な 感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちも神戸の発表会に参加してみたいと思うようになった。そのために全国に行ける研究レベルにしなければいけない。</li> <li>・ 発表や様々な質問に対応できるように、班員全員が研究を理解し、研究を深めることが重要だと感じた。</li> <li>・ 他校のレベルの高い研究が、大学や研究機関、企業などにアドバイスを受けていたり、測定機器を借りたりしていることを知り、自分たちももっと頼っていいのだと思った。</li> <li>・ 全国の人たちとポスターセッションができれば、自分たちでは考えもしなかったことに気づかされたり、他の分野にも広がりを見せたりして面白そうだった。</li> <li>・ 神戸の発表会は、外国の生徒や企業の人と交流できる機会であることを知り、その人たちの発表を聞いたりすることで自分たちもレベルアップできるのだと思った。</li> <li>・ 今の結果で仮説の裏付けができるのか、というような問題がどんどん出てきて、最終的に何を発表できるのかを考えるとかなり焦りを感じた。</li> </ul>
-----------------	--

